

SSRI

Give me a break !

ちよつと一言

## ミサイル防衛と敵地攻撃能力保有は全く別問題

藤岡智和

Aegis Ashore 配備計画停止を受け、その代替として敵地攻撃能力保有が話題に上がっているが、ミサイル防衛と敵地攻撃能力保有は全く別問題と考える。

発射された弾道弾を迎撃するより、発射前にこれを破壊する方が効率的であることは認めるが、はたして弾道弾を発射前に攻撃して破壊できるであろうか。

発射前に破壊するためには弾道弾が何処にあるかを正確に、漏れなく承知する必要がある。発射機は地下や坑道の中、或いは軍用と見分けのつかない倉庫の中に隠されている可能性が大きい。これを発見するには何年も前から継続的に、かつ相手国の全土にわたって虱潰しに、相手が行っている土木工事や建設工事の進展を掌握しておく必要がある。

わが国でそのような情報がデータベース化されているであろうか。

もし、弾道弾の配置状況を掌握していたとしても、敵は当然発射前に発射機を発射予定位置に移動させると見られる。わが国がその様な敵の動き全てをリアルタイムで捕捉追隨できる情報手段を持っているであろうか。

わが国の防衛にとって敵地攻撃能力保有は必要であることは認めるが、これはミサイル防衛の代替手段にはなり得ないと考える。

米国のように数発か数十発の核爆弾で、北朝鮮の全土を制圧できる能力を持っているのであれば別であるが。(2020年6月26日)